

株式会社山崎産業 (建設業) の取組み事例: 毎月の出来高請求に合わせて実行予算内での工事の進捗率や利益幅の確認ができる態勢

参加者

企業



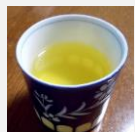
社名 株式会社山崎産業

業種 総合建設業

事業概要 土木・林業・建築
介護福祉・石油

所在地 宮崎県延岡市
(都道府県)

参加した 受講生 の概要



チーム名 帰って来た!ちゃそこを調教する会

チーム人数 4人

スキル・PR ビジネス・デジタル等に対し
知見のみならず経験も有する
多様なバックグラウンドの
メンバーで構成

進める中で
工夫したこと 各論から総論までを意識
新規事業への挑戦

実施概要

課題内容

総務部にて公共工事の実行予算の進捗率や利益推定を容易かつ迅速に行いたい

課題: 会計システム上の外注費の項目が少なく、予算との対比が出来なくなる

- ・ 総務部: 費目別消化状況の可視化、工事終了時の利益予測、赤字の要因分析
- ・ 土木部/林業部: 変更契約のパターン化、資料作成の簡素化、社内共有の方法



実施した検討内容

**公共工事の特性を鑑みた、積算・入札・契約変更・進捗管理の省力化/DX化の検討
林業分野における新規事業の検討**

- ・ 各課題について工事約款/マニュアル/業務フローを確認、利益/赤字/事業の分析検討
- ・ 積算/進捗管理/会計の各システム及びつなぎ事務を確認、DXに資する部分を検討



検討の成果

DX化検討を軸に100万円単位の赤字削減及び事業拡大に資する体制整備への貢献

- ・ 過去の赤字を行政との折衝に活用し100万単位の赤字防止を見込む
- ・ 積算システムの機能フル活用か、ACCESSでの簡易構築を行うかを提案
- ・ 売上伸長中の林業は政官財での変化を見込み利益率改善よりも投資的施策を提案

株式会社山崎産業 (建設業) の取組み事例: 毎月の出来高請求に合わせて実行予算内での工事の進捗率や利益幅の確認ができる態勢

実施内容の詳細

成果

デジタル化可能性/省力化という方向から検討

DX化検討を軸に100万円単位の赤字削減及び事業拡大に資する体制整備への貢献

課題内容	実施した検討内容
費目別消化状況の可視化	- 会計システムからの抽出データの精査 - 会計システムの既存機能の確認 - 積算システムの機能確認
工事終了時の利益予測	- 公共工事の積算～入札～契約変更の確認 - 公共工事の請負契約約款やマニュアルの確認
赤字の要因分析	- 会計システムから抽出の赤字データの精査 - 赤字の工事に関するヒアリング
変更契約のパターン化	- 進捗を報告する出来高調書を分析 - 積算システムやACCESSを利用して分析
資料作成の簡素化	- 紙の出面表のシステム化検討 - その他書面に関する簡素化の検討
社内共有の方法	会計システム上の外注費の共有方法の検討
林業における新規施策	- 原木の将来価格予想 - 原木活用しいたけ栽培やコンテナ温室投資 - 林業ベンチャー/研究開発への投資 - 林業経営体等への貸付/山林の購入/M&A - 流通センター相当への参入

検討の成果

- 既存の会計システムの欠損データを埋め既存機能で対応する。又は改修依頼
 - 積算システムの費用分析機能や可視化機能を活用する
 - 積算システムが出来高調書のデータをACCESSに取り込み分析&可視化する
 - 公共工事は積算～入札と言う流れであるため価格や利益は最初から固定的である
 - 入札～案件照査以降、想定外による請負者の責による大幅な金額変更が発生しないよう赤字工事台帳を整備しPDCAに努める
 - 過去の赤字工事と類似のものを赤字工事台帳や積算システム等を活用し把握する
 - 過去の赤字を行政との折衝に活用し100万円単位の複数の赤字防止を見込む
- (※検討途中のため必要に応じて、変更粒度の定義、分析を行う。)
- 延岡信用金庫様より紹介のあった業者にて検討を進める
 - リバースオークションの活用提案を行った
 - 出来高調書が上がる前であれば、積算システムやACCESSを使用して把握する
 - 出来高調書の報告タイミングで、各外注先の費用をEXCEL進捗管理表に記載し把握する
 - 経理メ後で良ければ、会計システムの発注管理や支払期間で把握出来るのではないか

(※施策の初期段階からDX構想をもって効率的かつ効果的な運用を想定、新規事業戦略において継続検討)

